

横浜市城郷小机地区センター 指定管理者事業計画書				
申込年月日 令和5年6月16日				
ふりがな 団体名	いっほんざいだんほうじん 一般財団法人 こうほくくみんしせつきょうかい 一般財団法人 こうほく区民施設協会			
代表者名	こじま きよし 小島 清	設立年月日	平成23年7月6日	
団体所在地	〒222-0011 横浜市港北区菊名六丁目18番10号			
電話番号	045-435-2651	FAX 番号	045-434-6402	
沿革 設立の経緯	<p>当協会は、前身団体の設立以来、地域に生まれ育てられ、地域のために、港北区内の施設の管理運営に28年の実績と経験を重ねてまいりました。その間、地域の皆様とご利用団体にご満足いただけるよう、その声をよく聴き、常に親切で時代に合わせた、質の高いサービス提供に努めています</p> <p>平成7年～ 港北区内の地区センター、こどもログハウス及びコミュニティハウスの管理運営を担う各施設の運営委員会を一元化する形で、当協会の前身、港北区区民利用施設協会が任意団体として設立され、施設の運営を開始しました</p> <p>平成23年～ 新たに法人格のある、一般財団法人こうほく区民施設協会を設立し、責任ある運営体制に強化しました。旧協会から事業を引き継ぎ現在に至ります</p> <p>現 在 地区センター5館、コミュニティハウス2館、こどもログハウス、学校併設型コミュニティハウス3館、計11施設の管理運営を受託しています</p>			
業務内容	<p>1) 区民利用施設等の運営管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区センター、コミュニティハウスなどの受託施設を、幅広い世代の皆様に安全安心で・快適に・楽しく・ご利用いただけるよう運営しています コロナ禍にあっては、消毒や換気など万全の対策を施すとともに、利用者の皆様の健康を守るためのご利用の制限を分かりやすくお伝えするなど、地域の大切な施設を守り、ご愛用いただくよう努めてきました 港北区の各種施策に積極的にご協力しながら施設を運営し、また、一部施設では、災害時の自主避難場所や帰宅困難者一時滞在施設として、人々の命を守る役割を担っています <p>2) 地域での顔の見える絆づくりや交流を促進する事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の皆様の交流が深まり、活力とふれあいある地域社会の実現のために、地域団体や関係機関、地域の施設と連携することで、時代に即した、幅広い関心に応える、多様な自主事業やイベントを企画・実施しています <p>3) 地域の一員として、地域活動、地域課題解決のご支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の皆様の自主的な活動がより活発になり、地域諸課題の解決につながるご支援をしています。また、地域デビューのご案内やボランティア体験などの機会を提供しています。さらに、引き続き生涯学習の機会・情報提供もいたします 			
担当者 連絡先	氏名	■■■■	所属	■■■■
	電話	045-435-2651	FAX	045-434-6402
	E-mail	■■■■		

(1) 応募団体に関すること

- ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について
 イ 応募団体の業務における城郷小机地区センター指定管理業務の位置づけ
 ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

ご利用者の笑顔は私たちの喜び

① **地域ニーズ**に応え、夢のあるわくわくする事業を通じ、満足と親しみある施設運営を実現

② 研鑽に努め**サービスの向上**を追求し、その成果を確実に利用者へ還元する

③ **コスト意識**を持ち、諸物価/光熱水費高騰の中でも最少の経費で最良のサービスを提供する

(経営方針)

サービス向上 研鑽に努めサービスの向上を追求し、その成果を確実にお客様にお届けする

確かなニーズ 地域とのニーズと課題を的確に把握、夢のあるワクワクする事業を通じ満足感と親しみある施設運営

高いコスト意識 コスト意識を持ち、最小の経費で最良のサービスをお届けする

城郷 絆

業務概要	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の皆様やご利用者のために、安全で快適な施設づくり、時代に即した施設運営(例:迅速な修繕、ネット活用と簡単な予約、感染症対策の徹底、快適なトイレや水回り) ②魅力ある講座やイベントの開催で、地域の自主的な活動やつながり作りをお手伝い。 ③ストックマネージメントの考え方にに基づき、施設の長寿命化につながる保守管理
特色	<ul style="list-style-type: none"> ①地域住民を主体とした施設の管理運営のために、地域を中心に設立された団体です <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市指定管理者制度運用ガイドライン上の市内中小企業等に該当します ・役職員 137人中 123人(90%)が港北区在住。地域に即した運営を実現します ②受託施設と協会本部は、全て港北区内。組織内の情報共有や区役所との迅速な報告/連絡/相談が可能。災害等の緊急事態にも、いち早く区民の皆様のため行動できます ③永年の地域密着運営から、施設に愛着を持ち意欲ある方が職員として多く働いています

イ 応募団体の業務における城郷小机地区センター指定管理業務の位置づけ

① 地区センターの運営は、当協会発足以来の根幹事業です

- ・5年間の管理期間を通して、地域交流の推進、ふれあいと活力ある地域の拠点を目指します

② 地区センターは、地域社会の大切な拠りどころ・シンボルになっています

- ・経験ノウハウを惜しみなく注ぎ「皆様にさらに使いやすく快適に」強い決意で運営します
- ・平成16年(2004年)の開設以来19年、時間をかけて培われた地域と施設の関係大切にします

③ 地域団体をはじめ関係機関・団体・学校・幼稚園保育園・商店街・企業と密接に連携します

- ・施設も地域の一員。「まちの縁側」として皆様の居場所、地域の絆づくりのお役に立ちます
- ・施設内での事業活動にとどまらず、施設の外にも出向き、「近所で気軽に」を実践します
- ・地域では実績能力ある人財が多数活躍中です。自主事業講師として活躍の舞台を用意します

④ 当協会運営の他地区センター等と補完し合い、時代にあわせて積極的に運営します

- ・部屋予約には、当協会の「港北区内 地区センター共通ネット予約システム」を導入します
 現行2通りの予約/利用を1本化 **現状は** ①協会方式(日吉/新田/綱島/菊名/篠原)と②城郷小机方式
導入後は ひとたび利用団体登録すれば、区内6地区センターを同じ方法で予約して利用できます
- ・もちろん、ネットをお使いにならない方のために、窓口や電話での予約も喜んで受け付けます
- ・充実した図書コーナーを引継ぎ、協会8施設(蔵書5万冊)の運営経験で区民の読書に供します
- ・協会施設相互の蔵書の検索予約を研究します。港北図書館と連携し図書コーナーを充実させます
- ・市外区外の来館が多い駅前立地を生かし、横浜線沿線やバス路線沿いに利用をPRしていきます
- ・TwitterやYouTubeチャンネルを開設し、施設の情報を幅広い世代に伝えていきます

⑤ 当施設はケアプラザとの合築施設。子育てから高齢者まで幅広い地域課題に取り組みます

- ・ケアプラザ指定管理者の秀峰会様と連携を大切にして、元気で暮らせる地域づくりをお手伝い
- ・プレイルーム運営や子育て支援、学習支援の経験から、城郷っ子の背中に大きな翼を育みます
- ・合築施設管理の基本はコミュニケーション。両館長+管理会社の連絡会で、意思疎通を図ります

ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

現在管理している施設種別	施設数	現在管理している施設種別	施設数
地区センター	5	コミュニティハウス	2
学校併設型コミュニティ施設	3(委託)	こどもログハウス	1

(2) 城郷小机地区センター管理運営業務の基本方針について



- ア 設置目的、区政運営上の位置付け
- イ 地域特性、地域ニーズ
- ウ 公の施設としての管理

ア 設置目的、区政運営上の位置付け

設置目的	地域の住民が生活環境向上のための自主的活動や、スポーツ、レクリエーション、サークル活動等を通じた相互交流を深める場として、設置されています
港北区運営方針	基本目標：活気にあふれ、人が、地域がつながる「ふるさと港北」 考え方：①安全に、安心して暮らせるまちづくり、②地域で支えあう福祉・保健のまちづくり、③活気にあふれるまちづくり、④協働で進めるまちづくり

設置目的や区政運営方針を踏まえて、城郷小机地区センターの運営に当たります

(1) 乳幼児から高齢者まで、どなたも安心して快適に交流できる場を提供します

- ・現指定管理者の優れた取組を大切に継承し、城郷地区の皆様の拠りどころとして運営します
- ・小机駅前の立地を生かし、利用者の笑顔があふれ、地域に欠かせない施設にします

(2) 地域の皆さんや団体、施設、機関と顔の見える関係を作り、連携により事業を進めます

- ・小机城址など歴史ある地域の一員として、絆を育む事業を実施します
- ・子育てから高齢者の元気づくりまで、コロナが収束しつつある時代に必要な活動を支援して、健やかな暮らしをお手伝いします



イ 地域特性、地域ニーズ

① 特性 1	<ul style="list-style-type: none"> ・区民意識調査(令和2年)では、「住み続ける、たぶん住み続ける」が7割を超え、主な理由は、「地域への愛着」や「交通が便利」です。歴史ある地域への誇りが高いです ・町内会加入率は、区平均66%に対し、69%でやや多い割合です ・日ごろの近隣との付き合い方は、「顔を知らない、見かけるが声を掛けない」が、区平均の49%に対し47%で、近隣との関係は薄れてきています
② 特性 2	<ul style="list-style-type: none"> ・東急/相鉄の新線が開業した新横浜に隣接し、JR小机駅、地下鉄岸根公園駅があります ・北側は鶴見川に接して農地が残り、南側は丘陵で樹林畑地の中に住宅が増えています ・人口約24,000人。世帯数約11,700世帯。若い世代の転入が増えています ・居場所づくりや子育てサロンの開設が進み、支え合いや見守りの輪が広がっています
③ ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・たすけあうまち城郷として、住民同士の交流や新たな担い手が求められています ・必要な人に必要な情報が的確に届くような仕組みづくり、が必要とされています
④ 施設状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のうち女性が65%。同じく体育室利用が35%、図書貸出数は区平均の2倍です ・JR小机駅(乗車人数8,174人/日)に隣接、横浜上麻生道路が通り、交通利便性は高いです ・起伏多く車利用の希望あり。近隣コイン回(4か所/28台)の最大料金は部屋料金と同等です

▶▶▶この地域特性やニーズ踏まえて、次に取り組みます

- ① 子育てが楽しくなる、お友達と参加したくなる事業で、親と子の仲間づくり
- ② 高齢者の健康づくり、働き世代の趣味や生きがい発見のお手伝いをします
- ③ スマホ対応ホームページやSNS/YouTubeで、未利用の世代へ働きかけます
- ④ 地域活動やボランティア情報を提供し地域参加のきっかけを提供します
- ⑤ ケアプラザは勿論、日産スタジアムや横浜ラポール等との幅広い連携を進めます



ウ 公の施設としての管理

基本は、誰もが平等公平に、安心して使える、「また来たくなる」施設となるように

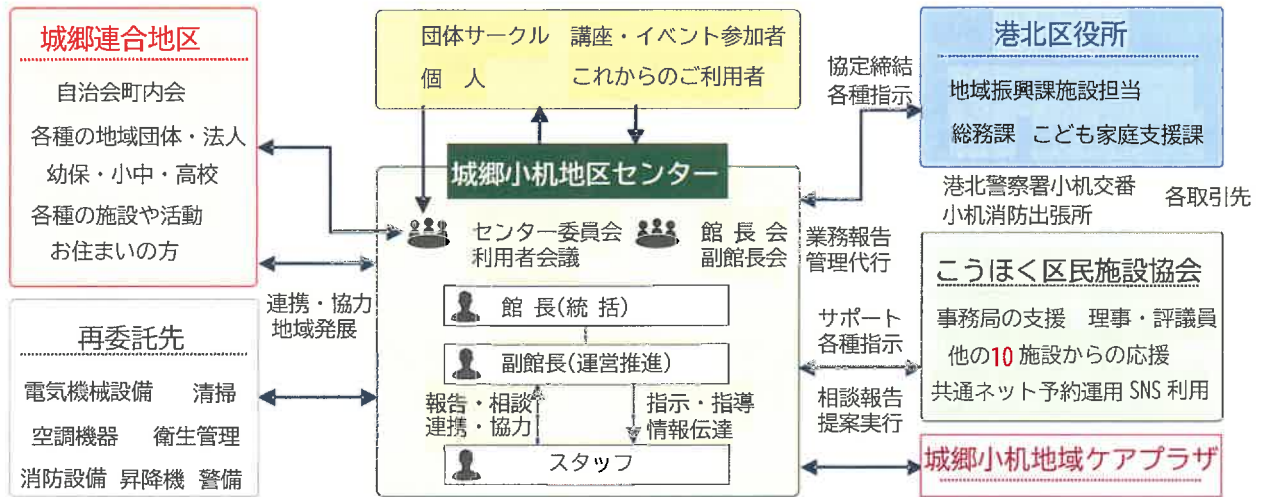
① 公平公正	<ul style="list-style-type: none"> ・どなたにも公平な施設のご利用、法令遵守と個人情報保護、人権尊重、事業計画や実績の公表により、公共施設としての責任を果たします
② お客様本位	<ul style="list-style-type: none"> ・温かく寄り添った接遇、見て伝わり読んで分かる広報物、素早い修繕や物品の補充 ・港北区の全ての地区センター共通の部屋予約システムで、ご利用を手軽に簡単に
③ 声の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意見を素早く反映、地区センター委員会や利用者会議の提言を実現、区と綿密な協議、新サービス実施に当たっては、十分な周知期間で円滑な移行
④ コスト意識	<ul style="list-style-type: none"> ・管理料の元は税金という明確な意識、収入の確保、サービスや小破修繕へ積極投資
⑤ 環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・節電(LED照明、人感センサー)、節水(自動水栓)、再生可能エネルギー由来の電力購入

(3) 組織体制

ア 管理運営に必要な組織、人員体制

(ア) 管理運営に必要な組織と連携

地域や関係機関との連携を大切にし、安心安全な地域の拠り所として運営いたします



(イ) 人員体制 (職員数 15 名)

①館長と副館長には、施設の管理運営や地域とのつながり作りの経験が豊富な者を配置します

- ・当協会の館長や副館長の経験者を充てます
※又は、行政で地域振興/地区担当等、企業で施設/マネジメント等の経験者を選考採用します

②スタッフには、近隣在住で、心のこもったお客様対応ができる方を配置します

- ・引き続き当施設で働きたい方を中心に、当協会の採用基準を満たす方を新たに採用します

職種	人数	事務分担	勤務形態
館長 常勤	1名	統括、地域/区役所/関係先との連携調整、施設委員会の運営、労務管理、研修、ケアプラザとの協働等	早番遅番のローテーション
副館長 常勤	2名	館長補佐、事務経理、スタッフ指導、施設設備管理、事業企画、広報、予約システム変更のご案内、団体サークル活動の支援等	副館長 1名は主に事務を担当、もう1名は主に事業を担当
スタッフ パート	12名	受付・案内、館内美化、物品貸出、事業実施補佐、コロナ時の消毒や換気等	午前/午後/夕方からの3枠 各時間帯に4名(2名2班体制) 班ごとに隔週で勤務(7勤7休)

勤務のローテーション

- ・常勤者1名を含む常時3名体制。繁忙時などもシフト変更で安定したサービスを提供
- ・働き方改革に基づき休暇取得を推奨し、ワーク・ライフ・バランスに配慮しています

平日勤務例

	8:45	9:00	11:30	12:45	13:00	13:15	16:45	17:00	17:15	21:00	21:15
館長・副館長 (ローテーション)	早番			遅番							
	(日曜祝日の場合)										
午前スタッフ	2名										
午後スタッフ				2名							
夕方からスタッフ							2名				

開館時間

③当協会事務局に「地域交流コーディネーター」を配置します

現在	事務局長＝地域コーディネーター、各館長＝サブコーディネーター 各々が地域に出向き、意見や想いを聴き、地域と施設の連携を進めます
物価高騰 収束後は	経営改善を進めて収支に余裕が生まれれば、再び独自にコーディネーターを採用し、専属で地域支援に当たらせてます



(3) 組織体制

イ 個人情報保護等の体制・職員研修計画

■ 個人情報保護に万全を期すため、責任体制を明確にして、法令規則を遵守し適正に執行します

管理者	>> < 事務局長 > 取得管理を統括
責任者	>> < 館長 > 適切な管理、研修、コンプライアンスの推進
取扱の3大原則	>> 十分な理解+愚直な手順+事故発生時の迅速対応

(ア) 個人情報保護の体制と取組み

① 法令遵守	・ 個人情報の保護に関する法律 及び 市の個人情報取扱特記事項 を遵守
② 規程と研修	・ 規程に基づく日々の業務、全職員に個人情報の重要性や取扱いを学ぶ研修を徹底
③ 取得	・ 必要最低限の情報に限り、本人の了解を得て取得。利用目的や取扱い範囲を明示
④ 利用	・ セキュリティ対策済みのパソコンで事務処理 ・ 情報流出がないよう持出し制限
⑤ 保管	・ 鍵のかかるキャビネットでの保管、必要以外の職員が閲覧/持ち出しできない措置
⑥ 廃棄	・ 書類はシュレッダー処理 ・ パソコン廃棄はハードディスクの物理的処理を確認
⑦ 漏洩防止	<p>新規 メール送信保留や添付ファイルに自動パスワード生成ができるシステムを導入</p> <p>新規 光通信回線接続機器にウイルス対策を導入、PC本体のアンチウイルスとの多重防御</p> <p>・ 基本中の基本 ダブルチェックを徹底、ミスを起こさせない「仕事のダンドリ」を工夫</p>
⑧ 事故発生時	<p>↓ 最優先は確認と謝罪 (①漏洩範囲の確認、②ご本人へお詫び、③区や事務局へ報告)</p> <p>↓ 回収と報告 (④漏洩先から漏洩情報の回収と謝罪、⑤ご本人や関係者へ結果報告)</p> <p>↓ 原因究明と改善 (⑥原因を特定し防止策を策定、⑦再発防止策の速やかな実施)</p> <p>新規 サイバーセキュリティ保険に加入。損害を補償し、専門家による再発防止策を策定</p>

(イ) 職員研修計画

- ・ 時代に即した内容を盛り込み、多くの職員が参加できるように計画的に実施します
- ・ スタッフの育成は館長及び副館長が担い、日々の業務を通じた習熟向上を図ります
- ・ **新規** ケアプラザに働きかけ、合同研修(不審者対応/救命措置/事故防止等)を企画

研修名	対象	内容
① 新任職員研修	採用前後	・ 1日の業務の流れに沿った研修、公共施設職員の心構え等
② 接遇研修	初任者対象	・ 「温かな接遇」「丁寧な聴き取り」を外部講師から学ぶ
③ 個人情報保護 コンプライアンス研修	拡充	・ 個人情報保護責任者(館長)が実務の取扱いを研修(全員対象)
④ 人権啓発研修		集合&各施設
⑤ 事故防止研修 防災研修	拡充 各施設で	・ 利用者との事故防止と適切な予防、発生時の措置等
⑥ 感染症対応研修		・ 消防署の指導のもと、避難誘導や消火訓練等を実施
⑦ スキルアップ研修		・ 感染症対策を学ぶ(全員対象)
⑧ SDGs・環境研修		・ 実務の技量向上(例:予約システム操作、図書貸出、SNS)
⑨ 救命・AED操作研修		・ ヨコハマSDGsデザインセンター会員法人として取組を学ぶ
⑩ 職員ミーティング		・ 心肺蘇生法、AED操作等の救命措置を学ぶ(全員対象)
		・ 館長を中心に業務の改善、利用促進、行事運営等を検討

研修名	頻度	内容
① 館長会・副館長会	それぞれ隔月	・ 業務・事務の簡素効率化の徹底、好事例の共有で、施設運営の向上につなげる
② 施設間連携会議	年数回	・ 公共施設長が集まり、分野を超えて連携に関する情報交換
③ 公共建築物管理者研修	年1回	・ 施設管理、点検維持方法の注意点の説明



(3) 組織体制

ウ 緊急時の体制と対応計画

■ 多くの利用がある地区センターでは、防災の備えがひととき重要で、予防と訓練に重点を置き、「まさか」に油断せず、いざという時に「すぐさま行動」できる態勢を整えます

(ア) 防犯、防災その他の災害・事故予防の計画

- ・ 緊急事態発生時には、①利用者の安全確保、②施設の保全、③運営の継続判断、が重要です
- ・ スタッフの行動手順を定め、マニュアル(危機管理・災害対応)により発生時に迅速に対応します
- ・ 当施設は、横浜市北部に土砂災害警戒情報が発表された場合の避難場所です。施設を保全し、地域の皆様の命を守る岩となるよう、区に協力して準備します

対応	内容
① 感染症対策	・ 利用者スタッフの健康を第一に考え、感染症対策に努めます
② 防災	・ 市や区の「防災計画」に基づき、施設の安全対策を整え、防災訓練を実施 ・ 「指定管理者災害対応の手引き(総務局/政策局)」に準拠して、体制を整備 ・ 災害対応自動販売機を設置、災害時に飲み物(1台最大500本収納)を提供 ・ 応急備蓄物資や防災用品を適切に保管し、避難経路をハッキリ掲示します
③ 帰宅困難者一時滞在施設 自主避難場所	・ 平常時から、区の担当者と避難者受入や館内設備の操作訓練を実施 ・ 過去の避難受入の経験から、地域とともに避難者の生活環境向上と不安解消を第一に備える(トイレトーパー備蓄、大型テレビで災害情報番組上映等)
④ 故障や事故の予防	・ 事故防止チェックリストに基づき、館内外の巡視を日々実行します ・ 専門業者の定期設備点検に加え、こまめな日常点検で設備の安定稼働 ・ 夏の猛暑のときには、水分補給や無理のないご利用を呼び掛け
⑤ 不審者対策 犯罪予防	・ 要所の防犯カメラで死角をなくし、心理的抑止と問題発生の実態を記録 ・ 挨拶や声掛け、巡視を重ね、迷惑行為には管理者権限を以て適切に対処

(イ) 事故発生時の体制

・ 迅速な対応ができるよう、職員・ケアプラザ・関係機関・業者等と緊急連絡網を構築します



(ウ) 緊急時の対応

・ 併設のケアプラザと一体となって、利用者や近隣の皆様、大切な建物を守ります

対応	内容
① 備え	危機管理マニュアルや災害対応マニュアルを備え、行動基準を作成
② 初期対応	出火防止、避難誘導、安全確保、応急手当、施設点検、事業継続等に万全を期す
③ 人員確保	緊急連絡網(※LINEも)で職員参集に努め、施設の開錠や設備の操作運転に当たる
④ 情報提供	気象情報や関連情報の収集に努め、利用者や滞在者への的確な情報提供に努める
⑤ 人命第一	区の帰宅困難者一時滞在施設や自主避難場所の開設に協力し、多くの人の安全を守る

・ 大規模災害発生時は、区の防災対応への協力に努めます

事象	対応	連絡報告
震度5強以上の地震発生時 台風・大雨・降雪等の気象情報 で警報発令が予想される場合	・ 職員は参集して安全対策を講じる。 ・ 状況を把握し区との連絡体制を確立 ・ 緊急事態に備えて人員体制を整備	被害あり=まず区へ報告 被害なし=逐次区と連絡 収束後に正式報告



ヘルメットは手の届く位置に



各部屋に避難口の案内



災害対応自販機(1台で飲料最大500本収容)

(4) 施設の運営計画

ア 設置理念を実現する運営内容

イ 利用促進策

■ 施設の設置目的を具体化するため、「近所であって」「気軽に使えて」「誰もが知っている」特徴を活かし、「人々を結びつけて」「活動の喜びを感じられて」「明日への活力になる」施設にします

施設運営の基本的な考え方

① 誰もが気軽に

- ・乳幼児から高齢者まで、地域住民だれもが気軽に安全に利用できる施設に
- ・団体や施設ボランティアの活動体験で地域デビュー・地域参加のきっかけづくり、地域に入る「どこでもドア」の役割
- ・これからの地域や時代のニーズ、社会の要請に即した運営や自主事業を展開

② 建物の維持管理を適切に

- ・こまめな点検、利用者からの指摘/要望に応える、迅速な修繕の実施
- ・館内の美化に努め気持ちよく利用できる施設に
- ・ケアプラザと情報交換を密に行い、効率的な施設管理を実現

③ たすけあうまち城郷を応援

- ・自治会町内会、団体、学校、施設、商店街が元気になるよう、結びつきを大切に事業に取り組む
- ・ひっとプラン城郷地区計画の実現に向け地域ケアプラザと連携し、皆様が感じている課題の解決のために汗をかく

イ 利用促進策

新たな指定管理期間の目標

- ・地域の皆さんの「おなじみ」の施設となり、千客万来を目指します

ウィズコロナでのご利用
消毒や換気を継続しつつご利用を回復
令和3年度利用者数 57,679人

アフターコロナでのご利用

	平成30年度(コロナ前)	収束後には
利用者数目標	108,537人(100)	114,000人(105)
稼働率目標	66.4%(100)	70%(105)

城郷小机地区センターの利用促進は、主に次の取組で臨みます

(1) 申込は窓口電話にネットでも 地区センター共通の部屋予約システムを導入

- ① ひとたび団体登録すれば、区内全ての地区センターの「予約」が可能になります
- ② 月4コマまでの予約が可能になり、充実した活動が行えます(現在は主に月2コマ)
- ③ 自主事業の申込みは、参加年代層に合わせ、施設ホームページからも可能にします

(2) 城郷地区にある施設として知っていただき、ファンになっていただく工夫を重ねます

- ① 駅ホームに面した「施設名だけの看板」を「施設内容が分かる」楽しく伝わる案内に改めます
- ② 図書を充実(協会8施設5万冊の一覧や貸出状況が分かる仕組みづくり、親子読書コーナー設置等)
- ③ TwitterやYouTubeチャンネルを開始し、施設や活動団体の様子を画像でわかりやすく伝えます
- ④ 公共施設が少ない新横浜の働き世代にPRして、退社後の運動や学習での利用を掘り起こします

(3) 施設の利用状況に即した対応

- ① 学生や社会人の学習利用ニーズに応じて、読書や勉強のために空き部屋を柔軟に開放
- ② 他の部屋が満室の場合などには、料理室の料理以外利用を認め、軽減料金を適用します
- ③ 時間単位の利用延長や、個人による部屋の有料利用を柔軟に受け付けて稼働率を高めます



(4) 時代の要請への対処、今日的課題に対処した事業の開催

- ① 食べることは生きること、フードドライブ(食品の受付)や「ぱくサポ」へ協力します
- ② 起伏の多い土地柄から、近隣のコインパーキングマップを作りクルマでの来場ニーズに応えます

(5) 1+1を3にする近隣施設や企業・商店街、学校との連携

- ① 近隣の商店街事業所、JA横浜と連携し、城郷小機の味覚や技術を文化祭や講座で紹介
- ② 地域内の小/中/高校と連携し、児童生徒の活動発表の場を設け、子どもたちの育ちを応援

(6) 暮らしに役立つ地区センター。気軽に立ち寄れる広報充実

- ① 第一印象がすべて。明瞭な導線、館内の美化、初めての電話/来館には温かく寄り添う対応
- ② 地域での施設日より掲示回覧をお願いしていきます。菅田/鴨居/川向町方面へのPRも工夫します

(7) サークルが元気になる支援、新規のご利用者となるサークル設立 各年度3~5団体

- ① 自主事業講座の開催中から受講者にサークル設立を呼び掛け、優先利用などで応援します
- ② 既存サークルを活性化。サークル紹介にQRコード貼付、活動体験会を開催し新会員募集をお手伝い
- ③ 区民活動支援センターと連携、地域デビューや担い手育成講座を開催、港北区つなぎ塾の活動を紹介

(8) 日産スタジアム、スポーツ医科学センター、横浜ラポール等との連携で、良質な事業を展開

- ① 分かりやすさに定評のある指導者を招き、楽しく身に付くプログラムの自主事業を実施
- ② ふだん知ることのできない大規模施設の内部見学会や充実した設備を利用した事業を開催



(4) 施設の運営計画

ウ 利用料金の設定について

■ 当協会の利用者サービスのポイントは、利用希望に対する柔軟な対応と使いやすさの向上です

(ア) 利用料金の設定

- ・ 城郷小机地区センターについては、現行の利用料金を継続します
- ・ 和室は、襖戸で二間に仕切れるため、他地区センターと同じく半室利用のサービスを開始します
- ・ 他の部屋が満室の場合には、料理室の料理以外での利用を可能として、料金設定を検討します

特色及び変更点	内容
① 簡単でわかりやすい予約サービス	・ 6施設統一予約システムにより、お手元から空室をいつでも予約できます ・ 受付でお尋ねがあれば、利用者に代わってスタッフが部屋を予約します ・ 他地区センターの空室もご覧になれます。受付でお尋ねがあれば調べます
② 部屋の柔軟な利用 幅広い世代の利用を開拓	・ SNS で部屋の当日空き状況を発信し、1時間単位の利用も受け付けます ・ 次の時間帯に空きがあれば、その場で利用延長の希望に対応します ・ 個人でもお部屋の有料利用を受け付けます(申込みは、6日前から) ・ 活発になった大学の部活/サークルに、手ごろな活動場所としてPRします ・ 音楽室/工芸室/和室/料理室では、様々な利用を提案します
③ 駐車場3台分の予約	・ 現指定管理者様の受付方法を継承します

(イ) 利用料金表

室名	利用料金(円)		説明 (お部屋の定員と使い道等)
	1コマ (3時間単位)	1時間 (延長・当日)	
中会議室	1,020	340	42名 会議/研修会・講演会・映写会・ダンス・軽体操等に
小会議室	480	160	18名 同上。料理室と連結して試食会にも
料理室	660(2時間)	330	24名 1回2コマまで 拡充 料理以外の利用には、料金半額を適用
和室	全面	870	20名 茶華道/舞踊・着付・会議・ヨガ/音楽 新規 10名 小団体に、襖戸で仕切った半室
	半面	430	
工芸室	660	220	24名 美術工芸のほか会議や楽器演奏も
音楽室	630	210	12名 防音 楽器演奏やカラオケに
体育館	全面	2,010	300名 卓球・バドミントン・バレーボール・体操・ダンス・太極拳・講演/集会・応援/チャリーディング練習等
	2/3面	1,340	
	1/3面	670	

(ウ) 減免や優先利用、魅力の向上

- ・ 各団体から申請があった場合は、ガイドラインに従って活動内容や公益性から館長が判断します
- ・ 使ってみたくなる「魅力向上」と「お部屋の新たな活用」の提案を組み合わせでご案内します

方策	内容
① 魅力向上	(新備品) スマホやPCにBluetooth接続できるスピーカー、和室にもスクリーン (料理室)「カフェ関連(コーヒー焙煎やミルク)」「時短調理の電気圧力鍋」を設置 (トイレ) 照明スイッチに触れず自動オンオフする「人感センサー」、 「パパの応援団」父親と幼児連れのプレイルーム利用が増えたので、男性個室にも一緒に入れる「ベビーチェア」や「子ども便座」設置をPR
② 新たな活用	(料理室) 料理器具を使わない料理以外の利用の場合は、利用料金半額にします (和室) 耐久性があり足の運びがよい和紙畳に入替え、親子の集まりやヨガ等にも (会議室) テスト前期間で、予約の入っていない夜間には、学習室として開放します

● 料理室の備品充実



● 和室の半室利用を開始



● 人感センサーでタッチ不要



● パパの応援団トイレ



(4) 施設の運営計画

- エ 利用者ニーズの把握と運営への反映
- オ 利用者サービス向上の取組
- カ ニーズ対応費の使途について

■ 施設委員会や利用者会議を大切にします。また、多くの人の前では発言しにくい「小さな要望」「キラリとしたニーズ」を見逃しません。ご利用者や地域の皆さんとの日々の触れ合いから、会話に潜む本当の要望を集め、できるだけ早く確実に施設運営に反映させていきます



エ 利用者ニーズの把握と運営への反映

- ・地域や利用者の意見を反映し、設備と運営双方を時代の求めに合わせて継続的に改善します
 - ・ご利用の多い「女性」「高齢者」「子育て世代」「小中高校生」に喜ばれる施設運営を実現します
- 寄せられた意見・苦情を真摯に受け止め、運営に反映させます。



日々の意見収集	<ul style="list-style-type: none"> ・受付で利用者に「二言挨拶」(例：こんにちは。暑いですね)等のお声かけ ・日常会話を糸口に、利用者のお気持ちや意見/要望を収集します ・ご意見箱は、受付から離れた場所に置き、本音のご意見を書きやすくします
会合や行事の場での聴取	<ul style="list-style-type: none"> ・施設委員会や利用者会議、利用者アンケートの声を大切にします ・館長や事務局長(地域コーディネータ)が、地域の会合や行事に出向きます
ご意見や苦情への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しいご意見や苦情こそ「期待」「提案」ととらえて、運営に生かします ・サービスに落ち度があればお詫びし、再発防止に向けて改善します ・実現困難な内容は、理由を丁寧に話してご理解いただけるよう努力します ・苦情や意見を隠さず区へ報告し、運営改善やサービス向上の指導を受けます
協会内の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・回答や改善策を職員に共有し、館長・副館長会議を通じて改善を一斉実施します

オ 利用者サービス向上の取組

① 朝8時55分から開扉	<ul style="list-style-type: none"> ・入口を5分早く開け、館内で利用受付開始をお待ちいただけます
② 初めての方に特に優しいご案内	<ul style="list-style-type: none"> ・モットーである「笑顔と温かな声掛け」でお迎えます ・戸惑いがちな「初めての利用者」には、特に親切な応接を徹底します ・受付のモニターを使い、施設の特徴や利用方法を動画で流し説明します
③ 入口から受付への辿ればわかるご案内	<ul style="list-style-type: none"> ・色テープを床に貼り、入口→階段→2階受付までの導線を明示します ・城郷の樹林緑地をイメージした「緑色」を使って案内表示を統一します
④ ネット上の案内充実 自主事業のネット申込	<ul style="list-style-type: none"> ・Google ビジネスプロフィールで Google マップ上の施設情報を充実 ・施設 HP から自主事業の申込を可能に。オンライン講座も検討します
⑤ 多様なアクセス方法のご案内	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化により車での来館希望が多いため、近隣の時間貸駐車場をご案内 ・横浜線やバス(東急市03、市営39系統)の路線図/時刻表の拡大版を掲出
⑥ 地域活動・団体サークルの活動活発化の相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域デビューの相談窓口」の看板を掲げ、希望する方の相談を受付(地域活動の紹介/助言、区民活動支援センターや区社協へのつなぎ) ・利用団体の会員募集、活動体験会、ネット活用をお手伝い ・製本機や電動ホチキスを導入し団体の資料作成を省力化



● 地域情報のデジタル掲示板

カ ニーズ対応費の使途について

お客様の要望に沿った使途を心がけます。優先度の高いものから整備・対応します

① 物品の購入	<ul style="list-style-type: none"> ・現指定管理者様にならない新刊図書の充実、筆談ボードや受付PCに音声訳ソフトの導入、要望に沿った備品の充実/入替
② 快適な利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・畳やふすま・障子の張替え(畳は、色あせや傷に強く、消毒ふき取り可能な和紙畳に)、トイレ照明に人感センサー取付
③ 使いやすい設備	<ul style="list-style-type: none"> ・登りやすい子供用踏台(トイレ洗面台や冷水器)、洋式便器に子ども用便座。カウンターや机に杖置き、和室に定員分の座椅子(ハイ、ロータイプ)、各室に手荷物カゴを用意
④ 喜ばれる事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・地区センターまつり(城郷フェスタ)等の楽しいイベント、七夕/クリスマスなど季節に合わせた行事、館内を楽しく装飾



(4) 施設の運営計画

キ 横浜市重要施策に対する取組

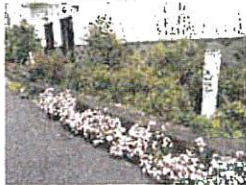
(ア) 横浜市や港北区の重要施策に対する取組

- ・区政運営方針や港北区ひっとプラン(地福計画)、市区政の重点施策に結びつく運営
- ・「近所にあり」「誰でも使える」特徴を活かし、人が集い活動が始まるよう、場所と機会をご提供

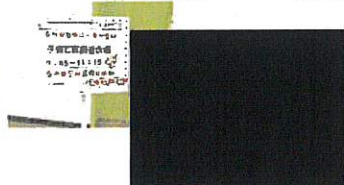


<p>① 環境配慮、カーボンニュートラル、SDGs</p>	<p>② 公平公正な運営と情報公開・個人情報保護</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・電力契約は再生可能エネルギー割合が 50%超 契約先=出光グリーンパワー社 ・当協会はヨコハマ SDGs デザインセンター会員 持続可能な横浜型モデルの創出に参画 ・ごみゼロルート回収に参加、利用者のごみ持帰り 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規不適切な利用や反社会的な団体の利用がないよう、利用の都度、団体に確認する ・個人情報保護の重要性を理解し、研修で徹底 ・コンプライアンスを遵守し、公正な運営を徹底 ・事業報告書/第三者評価報告書は HP すべて公開
<p>③ 読書活動の推進</p>	<p>④ 人権尊重、多様性の理解促進</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・港北図書館と連携を深め、区民の読書習慣定着 ・貸出冊数の維持/向上 年間 25,000 冊 ※区内地区センター平均 年間貸出約 11,000 冊 ・現指定管理者様にならった新着図書の充実 ・協会の 8 施設に 5 万冊、読書を積極 PR 写真③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の基本指針に基づく研修や啓発、公正な採用 ・全ての人の尊厳を守り、平等公平な利用を実現 ・社会参画支援として障害者地域作業所の製品販売や地元中学校の職業体験を受け入れ
<p>⑤ 子育てしたいまち、子育て支援の充実</p>	<p>⑥ 高齢者の活動の場、困難を抱えた方の支援</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てが孤育てとにならないよう、「親子の居場所」や「相談会」の活動にお部屋を提供 写真② ・楽しい雰囲気なプレイルームで、遊びを通した親子の触れ合いを育み、子育て情報も提供 ・小中高生の安心できる放課後の居場所や学習の場として、ロビーや学習コーナーの環境を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアプラザや区と連携して、運動や仲間づくりなど高齢者の健康寿命を延ばす活動を支援 ・多世代が交流する地域食堂や困難を抱えた方の支援の会場として、特徴(身近な、敷居が低い、親しみがある)を活かした活用を関係団体に提案
<p>⑦ 活気にあふれるまちづくり、地域への参加</p>	<p>⑧ DX/ITC の推進、ウェブアクセシビリティ</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・地域デビューや活動に参加したい方向けに「ちょこっと体験会」や「相談窓口」の設置 ・当施設も地域の一員。城址祭りや賑わいづくり、地域見守り、子育て活動に参加し、顔の見える関係をつくる。居場所/見守り/サロンのお手伝い ・新規花壇で港北オープンガーデンに参加 写真① 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規 Twitter や YouTube による画像/動画で見て分かる PR で、新たな利用の掘り起こし 写真④ ・新規 5 年秋の「市民利用施設予約システム」改善に合わせ、協会予約システムでもオンラインでの団体登録やキャッシュレス決済の可能性を研究 ・ウェブアクセシビリティ適合レベル AA を取得
<p>⑨ 市内経済活性化、市内中小企業優先発注</p>	<p>⑩ 弱者支援と障害者差別解消法を踏まえた対応</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・城郷地区の商店街との連携(地域の盛り上げや季節行事、地域ボランティア活動への参加等) ・備品/消耗品の購入や小破修繕は、市内(区内)の中小企業に発注 	<ul style="list-style-type: none"> ・不当な差別的取扱いの禁止を職員研修で徹底 ・地域の誰もが使える施設にするため、筆談器の導入、段差解消などバリアフリー化、障害に応じた伝わる説明、多文化へ対応、を取り入れる

写真①



写真②



写真③



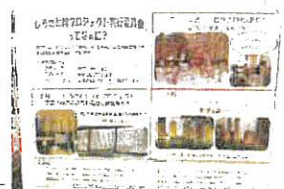
写真④



(イ) 地区センターと地域活性化、地域の課題や情報を共有する体制

- ・城郷の元気が地区センターの活性化につながります。地域の声をよく聴き、しるさと絆プロジェクトを初め地域の活動に積極的に参加し、地区センターがお役に立てるよう運営します

- ① 区内の活動団体のネットワークを持つ「区民活動支援センター」との連携
- ② 日ごろから城郷地区の町内会、地区社協、学校幼保、福祉施設等と密な連絡
- ③ 区主催の地域施設間連携・施設長会議や子育て支援の連絡会等へ積極的に参加
- ④ 地域に出向き関係者・活動の担い手の皆さんの生の声を伺います
- ⑤ 地区センター委員会でのご意見を大切にします



(5) 自主事業計画

ア 基本的な考え方

- ・ ①地域の方々の自主的な活動の支援、②地域の新たなコミュニティの創出、③人々の相互交流による地域の課題の解決。この3つを大きな目標として開催します
- ・ 地域は人財の宝庫です。地元を中心に講師となる方を発掘し、活躍の場をご提供します

①方向性 テーマ	・「城郷ならでは」「子どもから高齢者まで、みんながワクワクする」「続けてみたい、もっと知りたい」「今の時代にふさわしい」などの視点で、幅広いジャンルを取り上げます ・生涯学習や健康づくりに加え、「子育て支援」「居場所づくり」「健全育成」「困難を抱える方の支援」「世代間交流」に取り組みます。公益性が高い又は好評な事業は継承します
②留意点	・団体サークルの活動を妨げない日時で企画し、お部屋の利用には影響させません ・料金は実費程度とし気軽に参加できます。地域や連携先から魅力ある講師を招きます
③発展 連携	・自主事業実施後には、参加者のサークル化を働きかけ、活動を応援します ・「子ども子育て/高齢者/健康づくり/ボランティア」はケアプラザや活動者と協働して実施 ・日産スタジアム(横浜市スポーツ協会JV)や横浜ラポールと連携済、良質な内容を提供
④新展開	・図書コーナーでは、自主事業のテーマに沿った図書を紹介し、相乗効果を高めます
⑤独自性	・地域になじみの薄かった方が、地域につながる橋渡しをします ・参加したら、いつの間にか地域デビューを果たしている敷居の低い地域デビューを応援

イ 展開予定の主な自主事業(※ご紹介するのは、ほんの一例です。詳細は 様式4 をご覧ください)

(1) 地域に親しみ、地域を知る

事業番号2「親子で歩く小机城址」神奈川県三名城にも指定され、地域の観光スポットの一つでもある小机城址。ボランティアガイドの方とハイキングしながら、地域の歴史を学びます
事業番号4「鶴見川の水系と生物について学ぼう」鶴見川流域センターに協力を仰ぎ、地域を流れる一級河川・鶴見川の特徴や川辺の植物・生息する魚/甲殻類/鳥の知識を深めます



(2) 子育て支援の充実

事業番号10「ママ、パパ交流会」若い世代の流入が増えている城郷地区。子育て中の幅広い世代のママやパパが、子ども連れで参加し、一緒に遊び語らって「地元での友達づくり」を進めます



(3) 高齢者の生きがい・健康づくり、ケアプラザとともに

事業番号15「イスに座って健康体操」スポーツ医科学センター等の協力を得て、足腰に不安がある方でも参加できる「椅子に座ってのプログラム」の健康体操で、毎日を元気に過ごします
事業番号16「スマホを持って散歩に出よう」新横浜公園や小机城址等の景色や草花をスマホで撮影しつつ散策し、デジタルに親しみます。撮影者のお気に入り画像は施設 Youtube で紹介します

(4) 豊かな暮らし 安全、安心、持続可能な社会と暮らし

事業番号27「水やりのいらないアレンジお供え花」手入れに水を使用せず、仏壇やお部屋に常に美しい状態で飾っておける美しく癒しのフラワーアレンジメントを作ります



(5) 地域共生、自助・共助・公助連携

事業番号31「親子で挑戦! はじめてのparasports」多様性への理解を深めボランティアへの関心の第一歩となる講座です。横浜ラポールに協力を仰ぎ、親子でパラリンピック種目のポッチャ等を体験します。車いすに乗って移動したりスポーツする感覚も体感します

(6) 青少年健全育成、世代間交流、居場所づくり

事業番号38「ボーイスカウトとあそぼう」地域で活動するボーイスカウトに協力を仰ぎ、ボーイスカウトについてゲームを交えて学びます。異年齢集団での遊びや活動での成長を体験します
事業番号18「土曜の朝の体操講座」軽快な音楽に合わせて身体を動かし運動不足を解消。若い方から年配の方まで参加大歓迎。体操を通じて「地域の知り合い」を増やし交流のきっかけにします

(7) 地域の施設・団体との連携、今日的課題の対応

事業番号41「夏休み親子日産スタジアム探検」横浜市スポーツ協会の協力で開催。地区センターでの座学と実際のスタジアムツアーで、スタジアムの全てが分かるワクワク体験満載のプログラム

(8) イベント、サークルの支援、協会全体イベント

事業番号52「ふれあいコンサート」「ワークショップ・ウィーク」、事業番号54「合同文化祭」地域の学校や団体のコンサートや地区センター利用団体の発表・展示・1日体験会で、地域の素晴らしい活動を多くの人に伝えます。合同文化祭では多彩な発表やお楽しみ企画で利用団体や施設の魅力をPRして、地域ケアプラザとともに城郷地区を盛り上げます



(6) 施設及び設備の維持管理計画

■ 日々の安定運営を支える維持管理が私たちの誇りです。区役所や保全当局の指導のもと、大切な建物設備の長寿命化と環境負荷の低減を進めます



ア 建物設備等の保守管理

- ・ 設備を共用する地域ケアプラザとの緊密な連絡/確認が最も重要です
- ・ 点検→保守→修繕のサイクルを積み重ねて、今日も明日も明後日もふだん通りの利用をお約束
- ・ 日常の巡視点検と軽補修は職員が、課題があれば即座に専門業者に原因調査/修繕を依頼

	点検項目	点検名	頻度
電気機械	設備巡視点検管理	設備巡視点検	年12回/毎月
	電気設備点検	設備巡視点検	年6回/隔月
	電気工作物保安管理	定期点検	年1回
ガス	ガスヒートポンプ点検	中央監視装置点検	年1回
	ガス設備点検	定期点検	3年ごと
衛生	水質検査	レジオネラ菌等、冷水器検査	年2回、冷水器は年1回
	受水槽清掃	清掃、水質28項目検査等	年1回
	害虫駆除	薬剤散布等	年2回/半年ごと
建物等	消防用設備点検	定期点検	年2回/半年ごと
	防火設備点検	定期点検	年1回
	昇降機点検	定期点検(現契約先に依頼)	年12回/毎月
	自動ドア点検	定期点検	年4回/3か月ごと
	機械警備点検	定期点検	年12回

イ 修繕

- ① 施設の長寿命化診断に基づき修繕計画を立て、優先度に従って効率的に修繕します
- ② 規定額60万円未満の修繕は、当方の費用負担と責任において、迅速かつ適切に行います
- ③ 大きな不具合や突発の事案は、一刻も早く区と協議し、予算確保と修繕に結びつけます
- ④ 施設の不具合でお客様の利用に支障が生じないように、応急措置を施します

ウ 清掃・外構植栽

- ① 日常清掃は専門業者が実施し、その間にも汚れや埃があれば、職員がきめ細かく対応します
- ② 定期清掃や植栽剪定は高い技術の専門業者が実施、簡単な手入れや草取りは職員も実施します
- ③ 施設前の植栽はケアプラザと連携、利用者/ボランティアと共に四季の花咲くエントランスに

	清掃種別	方法	頻度
定期清掃	床清掃	洗浄・ワックスかけ	年6回/隔月
	ガラス清掃	全面	年2回/半年ごと
	カーペット清掃	洗浄	年4回/半年ごと
	カーテン清掃	クリーニング	年1回
	照明器具・網戸	清掃	年1回
	換気扇・吹出口・エアコンフィルター	清掃	年2回
外構植栽	剪定草刈	造園会社による植栽剪定	剪定は年2回

エ 効率化の工夫

- ① 日々の点検で早期発見に努め、早期に対応することで、大規模修繕を未然に防ぎます
- ② 当協会管理の地区センター等との一括契約により、設備保全や清掃業務委託費を節約します

オ 貸出物品の保守点検

- ① 貸出前後に点検し、故障は修繕/交換して、ご利用者にご不便を掛けません
- ② コロナの状況に応じて、貸出物品は、日々の消毒やふき取りを行います



カ 警備 保安

- ① 閉館後や休館日には、機械警備により、施設の安全確保、保全を行います
- ② 館内外に防犯カメラを配置し、不適切なご利用がないよう受付で画像を確認し抑止を図ります
また、このことをご利用者にも明示し、ご理解を得ます
- ③ ルール違反(飲酒をしての来館、むやみと大声を出すなどの迷惑行為、いたずら等)には、毅然たる態度で臨みます
- ④ ケアプラザに合同防犯訓練を呼びかけ、不適切な利用を抑止し来館者の安全を確保します

(7) 収支計画(収入計画)

ア 収入計画の考え方について
イ 増収策について

■ 収入計画の基本は「千客万来」。親切丁寧な接客とサービスで、繰り返しの利用増を実現します
地域の団体/個人の皆様はもちろん、横浜線やバス路線沿線の皆様にも城郷小机地区センターを
選んでいただけるよう、特徴ある運営や自主事業で、施設の魅力を発信します

ア 収入計画の考え方について

・「使いやすい施設づくり」と「また来たくなる明るい接客」により収入を確保します

考え方 と 特徴	① 事業やサービスの充実、利用者の利便向上のために必要な収入を確保します
	② 「また来たくなる」工夫と心遣いこそ増収の大前提、施設のファンを増やします
	③ 「1時間単位の利用」「個人の部屋有料利用」のニーズを汲上げ、料金収入を確保します
	④ リアルでの活動意欲の高まりに、魅力ある講座やサークル活動体験会で応えます
	⑤ 広告収入を確保します。(フロアマット、資料ラック、サイネージに地域/企業の広告)
	⑥ 区外や市外の利用が28パーセントと地区センター平均より10ポイント高い。城郷地区をももちろん大切にしますが、域外からの利用も幅広く受け入れて稼働率を高めます

◆収入の推移と達成目標

コロナ前の平成30年度を上回る収入を達成します

ウィズコロナでの ご利用 令和3年度に準ずる 3,375千円	アフターコロナでのご利用	
	平成30年度(コロナ前)	収束後には
利用料金収入(千円)	4,350 (100)	4,650 (107)
自主事業収入(千円)	1,748 (100)	1,853 (106)
収益事業収入(千円)	1,103 (100)	1,158 (105)

イ 増収策について

入館者増を足掛かりに収入を確保します

利用料金 収入	利用促進策により、同等規模の地区センターに準じた約465万円を目指します	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の予約持ちコマ数の上限を緩和して、活動の予定を立てやすくします <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>抽選～</th> <th>ご利用の1か月前～</th> <th>利用直前</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当協会</td> <td>2コマ</td> <td>4コマ 他施設と同様に</td> <td>上限なし</td> </tr> <tr> <td>現在</td> <td>2コマ</td> <td>2コマ 午後2時と29～31日分は上限に含まず</td> <td>上限なし</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・講座参加者による自主サークル立上げを強力に支援 ・SNSで空き室情報をタイムリーに提供 ・利用直前には上限なく予約できることを、さらにPR ・個人が部屋を有料で利用できることを、重ねてPR ・希望日が満室の場合、料理室の料理以外利用を受付 ・和室に座椅子を増備し、楽な姿勢で活動を可能に ・活動体験会や動画PRで、団体の新会員募集を応援 		抽選～	ご利用の1か月前～	利用直前	当協会	2コマ	4コマ 他施設と同様に	上限なし	現在	2コマ	2コマ 午後2時と29～31日分は上限に含まず	上限なし
	抽選～	ご利用の1か月前～	利用直前											
当協会	2コマ	4コマ 他施設と同様に	上限なし											
現在	2コマ	2コマ 午後2時と29～31日分は上限に含まず	上限なし											
自主事業 収入	利用増の先行投資として、収益を見込まず不足分を施設で負担します 興味を引く内容や参加者負担軽減のため、地域/施設との連携や収益事業の繰り入れで対応します	<ul style="list-style-type: none"> ・新横浜や近隣の働き世代向けの学びや健康講座開催 ・「城郷ならではの」「親子で一緒に」「なるほどが得られる」「いま話題の」参加したくなる講座を用意 ・地域や近隣の施設・団体・商店街との連携で実施 ・スマホ使いこなしや懐かしの歌等、うれしい講座 												
収益事業 収入 雑収入	積極的に収入増を進めます 地域の書類作成を応援します	<ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機の品揃え(お菓子やシリアル等軽食) ・有料の広報ラック、広告入り足ふきマット ・高性能な印刷機、製本機、電動ホチキスの導入 												



立ち上がりやすい
ひじ掛け付きの座椅子



軽食も販売している自動販売



広告サイネージ

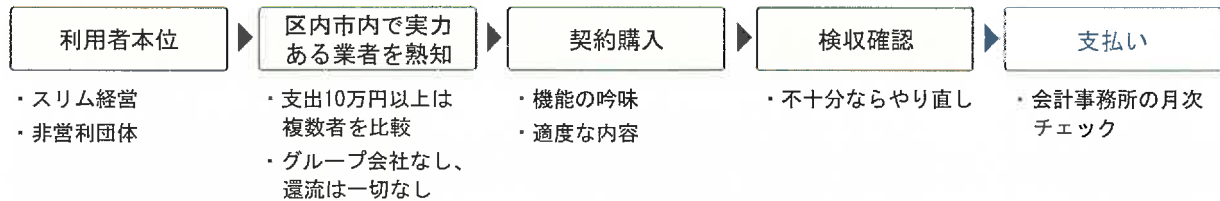


高画質高性能コピー機

(7) 収支計画(支出計画)

ウ 支出計画の考え方について

■ これまでも、これからも、「必要な経費は迷わず支出」。抑えるところは「出づるを制す」支出を渋ってご利用者に不便をきたす粗雑なサービスを提供することなかれ。肝に銘じて運営に当たります



ウ 支出計画の考え方について

コロナ禍でも、安心安全な運営とサービス向上に不可欠な経費は、適切に支出します

① 当協会の 特徴	・協会の一括経理で、突発的な支出や修繕に対応できる「柔軟な支出予算編成」
	・節減の工夫は協会内ですぐに共有します。大量購入や一括発注で節約に努めます
	・発注は市内や区内の中小企業を優先し、公平公正に競争性を導入して契約します
② 節約経営	・適切な経費執行は、「施設と事務局の相互チェック」、「会計事務所の月次確認」、「区の四半期ごとの業務点検」で担保されています
	・協会本部経費は最小化(本部は3名)し、施設の運営に最大限支出します
	・役員報酬や株主配当がなく、その分を施設運営と利用者サービスに還元します
	・内部コピーは裏紙、不要照明消灯、照明人感センサー等、小さな工夫の積み重ね ・当協会運営の地区センターは、自前投資で照明をLED化。明るく省電力を実現

節約経営のための小さな工夫



お部屋の柔軟な利用を可能に



照明のLED化



諸室にスクリーン

利用者がスマホ・PCで画像動画を映したいという要望に応えて



職員持ち寄り
季節の話題作り

各経費の考え方

① 光熱水費	・換気に気を配りつつ冷暖房し、適切な温度設定、機器の清掃メンテで節減 ・不要照明の消灯、自動水栓への交換、LEDへのさらなる取り換え
② 人件費	・安全快適な運営、利用者サービスや事業の充実のため、必要な人員を配置 ・職員の変形労働時間制やスタッフの柔軟なシフトによる人件費の抑制 ・最低賃金法や各種労働法令の遵守
③ 自主事業	・質の高い事業を安価な参加費で実施できるよう、協会内で研修と情報交換 ・経費のうち材料費や講師謝金の一部、保険料は、参加者に負担を求める ・講師謝金にルールを設け、魅力ある講座を適価で開催します ・地域や団体、商店街事業所と連携し、関心と呼ぶ事業を催し経費低減に努める
④ 事務費	・人事労務・経理・契約支払等は、事務局一括処理により効率的な事務処理を実現 ・最新の事務機器や事務処理システムの導入で、事務の簡素化効率化
⑤ 備品消耗品	・常に安価な供給元を探し経費を節減。各施設や事務局でその情報を共有 ・破損(不調)個所の早期点検や修繕を実施。備品や消耗品を長く無駄なく使う
⑥ 利用者サービス	・光熱水費や人件費、備品購入などを適正に抑制し、利用者サービスを充実 ・稼働率アップにより利用料収入を確保し、ニーズ対応として利用者にさらに還元
⑦ 管理修繕	・早期発見・早期修繕により、休館を伴う大規模修繕を極力回避する ・緊急性があり安全確保が不可欠な修繕は、区と協議して優先順位に従い実施 ・規定額(60万円未満)の修繕は、当協会の費用負担と責任で迅速に対応する

(8) 新型コロナウイルス感染症等に係る対応

1 5月から感染法上の扱いが変わりましたが、ウイルスがなくなったわけではありません
常に感染状況を把握し、区の指示のもと、利用者の安全安心を第一に施設を運営いたします

1 当協会の対応の特徴

- ①長期休館、利用制限、集団接種会場等、様々な対応を全て経験し、ノウハウを蓄積しています
- ②感染症対策の実務経験者が2名在籍(元 区役所の生活衛生課長)。適時適切な対応が可能です
- ③長期休館時にスタッフは待機とし(手当支給制度有)、再開後直ちに出勤し通常運営に戻れます

2 今後、感染拡大があった場合の基本的対応

施設での 用意・対策	<ul style="list-style-type: none"> ①基本 検温器や手指消毒液の用意、職員の健康確認、受付の飛沫防止ビニール、15分前の活動終了と換気、季節を問わず窓開け換気、扉に代わる防球ネット ②利用制限 分かりやすいご説明、ホームページを随時更新しご案内 ③貸出制限 個人利用の備品(ラケットや基石)、プレイルームのおもちゃ ④消毒 お部屋消毒セットの用意、職員がドアノブや手すり等を消毒
利用者への お願い	<ul style="list-style-type: none"> ①基本 利用前の健康状態確認、マスク着用、手指消毒、人との距離 ②ご利用時 人との距離の確保、利用後の机や床の消毒、館内飲食の制限、定員内での利用、活動当日の参加者記録、床モップからクイックルワイパーへの切替 ③利用を推奨 当日の行事参加者の記録(神奈川県ラインコロナ通知システムの登録)
休館や 利用制限の お知らせ	<ul style="list-style-type: none"> ①迅速に 直ちに予約済の団体に利用制限を連絡します。Twitterでもご案内します ②詳しく 施設ホームページは各施設で修正可能。利用方法の変更をすぐ案内可能 ③幅広く 利用の変更は、「施設のたより」で地域の掲示板や回覧でも広報します

●集団接種会場(綱島)



●机イスの消毒セット



●飛沫防止の亚克力板



●備品(基石)の消毒



3 協会が運営する他施設等での感染防止対策実績

コミュニティハウス	部屋の抽選申込は来館から電話受付に切替え。ロビーや部屋の人数制限
学校型コミュニティ ハウス(スクール)	児童生徒の安全優先から、教育委員会の指示に基づき利用の制限を実施
こどもログハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・時間帯ごとの入替制(上限人数20人)、入替の間に換気時間を取る ・消毒が難しい地下通路等の遊具は、利用中止

4 今後、感染拡大があった場合 自主事業開催の工夫

安全安心	定員の絞り込み、接触の回避、戸外での開催、広い部屋のある施設との連携
文化祭に代えて	団体紹介キャンペーン(1日1団体ずつ、一般向け活動体験会を開催)
リモートでの開催	講師と受講者をリモートで結び開催。リモート初心者向けの使い方講座も開催

5 今後、感染拡大があった場合 利用料金収入減に対する対応策

① 利用の手控えを食い止める活動の継続のお手伝い	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで利用してきた団体が、活動休止や解散しないように、新たな会員を増やすお手伝いをします ①団体登録人数を柔軟に(これまで5人以上→2人以上に) ②活動内容の紹介月間を設定(1日1団体、活動体験会や作品展示) ・安全安心の徹底(利用の入替時に、15分間の換気時間を取る等)
② 迅速に空室情報を提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用の多い(予約の取りにくい)お部屋にキャンセルが出た際に、ホームページやSNS上で空き情報をスピーディに提供
③ 個人での部屋利用希望に応える	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏や歌唱、ダンスや舞踊などの、個人練習の希望に応える直前予約となりますが、個人の部屋有料利用を喜んで受け付けます
④ 機動的な職員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・協会支出の過半は人件費。施設休館が生じた際には、それに応じた職員配置の縮小や勤務時間の短縮により、対応が可能です

横浜市城郷小机地区センター自主事業計画書

団体名 一般財団法人こうほく区民施設協会

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たり参加費	自主事業予算額					
		総経費	収入		支出		
			指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
1. もうすぐ城址まつり ダンボールで鎧と刀を作ろう	小学生	9,000	1,000	8,000	6,000	3,000	0
	10人						
	800円						
2. 新横浜公園で オープンガーデンを鑑賞	18歳以上	4,000	0	4,000	3,000	300	700
	20人						
	200円						
3. 地域を知ろう① 小机歴史散歩 親子で歩く小机城址	小学生以下と保護者	4,800	300	4,500	3,000	800	1,000
	15組						
	300円						
4. 地域を知ろう② 鶴見川の水系と生物 について学ぼう	中学生以下と保護者	4,000	1,000	3,000	4,000	0	0
	15組						
	200円						
5. 地域を知ろう③ 路線バスで 地域の魅力を発見	小・中学生と保護者	3,000	3,000	0	3,000	0	0
	20組						
	無料						
6. 親子でふれあい① おはなしの部屋 (12回)	未就学児と保護者	25,000	25,000	0	24,000	1,000	0
	12組						
	無料						
7. 親子でふれあい② ぼかぼかひろば (10組×3回)	未就学児と保護者	7,000	1,000	6,000	6,000	1,000	0
	10組						
	200円						
8. いっぱい遊ぼう 大きく育つ！親子学級 (6回)	未就学児と保護者	53,000	4,000	49,000	48,000	2,000	3,000
	14組						
	3,500円						
9. 城郷・小机おもちゃの病院 (4回)	どなたでも	21,000	21,000	0	20,000	0	1,000
	40人						
	無料						
10. 子育てのお悩み解決 ママ、パパ交流会	未就学児と保護者	2,600	2,600	0	2,600	0	0
	15組						
	無料						
11. 健やかに育つ 親子はみがき教室	1～3歳の子と保護者	7,000	2,500	4,500	6,000	1,000	0
	15組						
	300円						
12. 生演奏と楽しいお話し 親子のための ぱびる音楽会	未就学児と保護者	25,000	10,000	15,000	25,000	0	0
	30組						
	500円						
13. 文学に親しむ 午後の朗読会 (20人×3回)	どなたでも	9,000	5,000	4,000	9,000	0	0
	20人						
	200円						

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
14. 懐かしの名曲を歌おう (15人×2回)	60歳以上	12,500	500	12,000	12,000	500	0
	15人						
	400円						
15. イスに座って健康体操	60歳以上	8,000	500	7,500	7,000	0	1,000
	15人						
	500円						
16. スマホを持って散歩に出よう (12人×2回)	18歳以上	13,400	3,800	9,600	12,000	0	1,400
	12人						
	400円						
17. 趣味のコーヒー講座	18歳以上	15,000	600	14,400	6,000	9,000	0
	12人						
	1,200円						
18. 土曜の朝の体操講座 (34人×2部制×3クール)	18歳以上	841,200	106,800	734,400	802,000	0	39,200
	34人						
	3,600円						
19. 背骨コンディショニング 体操 (12人×10回×4クール)	18歳以上	252,000	12,000	240,000	220,000	0	32,000
	12人						
	5,000円						
20. 木曜午後の健康ヨガ (13人×7回×4クール)	18歳以上	232,000	13,600	218,400	200,000	0	32,000
	13人						
	4,200円						
21. 健康な毎日のための 栄養講座	18歳以上	7,000	0	7,000	7,000	0	0
	20人						
	350円						
22. 墨彩画で夏を描く オリジナルうちわ	小学生	10,000	5,000	5,000	6,000	4,000	0
	10人						
	500円						
23. 素肌にやさしい 布草履づくり	18歳以上	8,000	2,400	5,600	6,000	2,000	0
	8人						
	700円						
24. 暮らしに役立つDIY① 網戸の張替え講座	18歳以上	5,000	0	5,000	4,000	1,000	0
	10人						
	500円						
25. 暮らしに役立つDIY② 包丁とぎのコツを伝授	18歳以上	5,000	0	5,000	4,000	1,000	0
	10人						
	500円						
26. 今から備える防災対策	18歳以上	0	0	0	0	0	0
	20人						
	無料						
27. 残暑を乗り切る 愛情たっぷりおうち料理	18歳以上	15,000	600	14,400	6,000	8,300	700
	8人						
	1,800円						

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
28. 春の食材で作る カラフル薬膳弁当	18歳以上	15,000	600	14,400	6,000	8,300	700
	8人						
	1,800円						
29. 自然にやさしい 水やりのいらない アレンジお供え花	18歳以上	22,000	0	22,000	6,000	16,000	0
	10人						
	2,200円						
30. 地域作業所に教わる ふわふわシフォンケーキ作り	18歳以上	8,000	0	8,000	3,000	4,300	700
	8人						
	1,000円						
31. 親子で挑戦！ はじめてのparasports	小学生と保護者	5,300	500	4,800	4,000	0	1,300
	16組						
	300円						
32. 認知症サポーター 養成講座	18歳以上	3,000	0	3,000	3,000	0	0
	20人						
	150円						
33. より良い人生を歩むための 終活エンディングノート	60歳以上	4,500	0	4,500	3,000	1,500	0
	15人						
	300円						
34. かんたんスマホ講座	60歳以上	0	0	0	0	0	0
	20人						
	無料						
35. こども将棋教室 (10回×2クール)	5歳～中学1年	122,000	10,000	112,000	120,000	2,000	0
	28人						
	4,000円						
36. かつこいい ミニ立体こいのぼり作り	小学生	11,000	6,000	5,000	6,000	5,000	0
	10人						
	500円						
37. いちごのショートケーキを 作ろう	小学3年～中学1年	14,000	6,000	8,000	6,000	7,300	700
	8人						
	1,000円						
38. ボーイスカウトとあそぼう	小学1年～3年	4,000	1,000	3,000	3,000	1,000	0
	15人						
	200円						
39. 夏の子ども科学教室	小学生	9,000	0	9,000	6,000	3,000	0
	15人						
	600円						
40. 夏休み 日本伝統文化教室	小学1年～中学2年	44,800	11,800	33,000	18,000	25,000	1,800
	10人						
	3,300円						
41. 夏休み 親子日産スタジアム探検隊	小学生以下と保護者	25,200	5,200	20,000	24,000	0	1,200
	20組						
	1,000円						

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
42. 季節の折り紙教室① 来年の干支を折ろう!	18歳以上	12,600	3,000	9,600	6,000	6,600	0
	8人						
	1,200円						
43. 季節の折り紙教室② かわいいお雛様	18歳以上	12,600	3,000	9,600	6,000	6,600	0
	8人						
	1,200円						
44. 地元のお店に習う① 季節の和菓子作り (8人×2回)	小学3年~中学2年	38,000	22,000	16,000	16,000	20,000	2,000
	16人						
	1,000円						
45. 地元のお店に習う② 季節の洋菓子作り (8人×2回)	18歳以上	38,000	12,400	25,600	16,000	20,000	2,000
	16人						
	1,600円						
46. 地場野菜で作る ヘルシーランチ (8人×2回)	18歳以上	30,000	1,200	28,800	12,000	16,000	2,000
	16人						
	1,800円						
47. 麴屋から学ぶ味噌作り	18歳以上	35,700	10,100	25,600	10,500	25,200	0
	16人						
	1,600円						
48. 花農家さんに教わる 小さな寄せ植え	18歳以上	14,000	0	14,000	6,000	8,000	0
	10人						
	1,400円						
49. 季節のそば打ち教室 (6人×3回)	18歳以上	54,200	14,600	39,600	21,000	31,200	2,000
	18人						
	2,200円						
50. イタリア家庭料理教室 (8人×2回)	18歳以上	52,500	17,300	35,200	16,000	34,500	2,000
	16人						
	2,200円						
51. 手作りパンを楽しむ会 (8人×2回)	18歳以上	38,200	12,600	25,600	16,000	20,200	2,000
	16人						
	1,600円						
52. SHIRO SATO ふれあいコンサート	どなたでも	8,000	8,000	0	6,000	2,000	0
	100人						
	無料						
53. サークル活動の活性化を応援 ワークショップウィーク	どなたでも	0	0	0	0	0	0
	60人						
	無料						
54. 城郷小机合同文化祭	どなたでも	20,000	20,000	0	12,000	8,000	0
	100人						
	無料						
55. 城郷小机 新春初笑い寄席	どなたでも	12,500	12,500	0	12,000	500	0
	50人						
	無料						
合計		2,252,600	400,000	1,852,600	1,815,100	307,100	130,400

横浜市城郷小机地区センター 自主事業別計画書（単表）

(凡例)

自主事業の8つの柱による分類

(1) 地域のつながりづくり

(2) 子育て支援の充実

(3) 高齢者の生きがい・健康づくり、ケアプラザとともに


(4) 豊かな暮らし、安全・安心、持続可能な社会と暮らし

(5) 地域共生、自助・共助・公助連携









(6) 青少年健全育成、世代間交流、居場所づくり

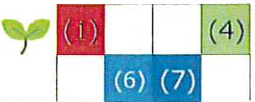

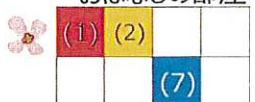

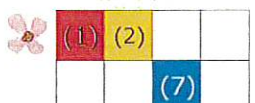

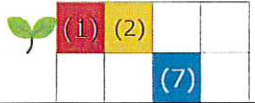



(7) 地域の施設・団体との連携、今日的課題の対応





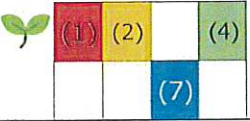

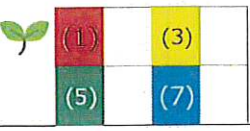

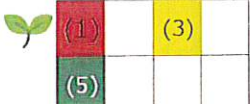

(8) イベント、サークルの支援、協会全体イベント



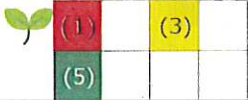



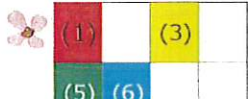

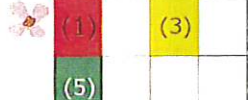

 新しく開催する事業(35)

 現指定管理者実施の継続予定事業(20)

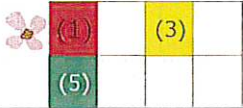

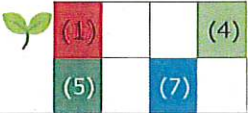

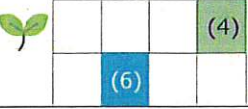
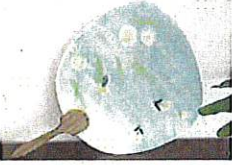
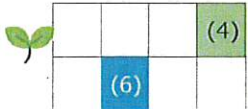

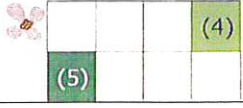

1	事業名	目的・内容等	実施時期・回数								
	いざ出陣！ もうすぐ城址まつり ダンボールで鎧と刀を作ろう  <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>(1)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>(6)</td><td>(7)</td><td></td></tr> </table>	(1)					(6)	(7)		「小机城址まつり」にちなんで、ダンボールでカッコいい兜と刀を作ります。こどもの日の飾りにもなります。 	4月・1回
(1)											
	(6)	(7)									
2	新横浜公園で オープンガーデンを鑑賞  <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>(1)</td><td></td><td>(4)</td><td></td></tr> <tr><td>(5)</td><td></td><td>(7)</td><td></td></tr> </table>	(1)		(4)		(5)		(7)		毎年春に開催される「港北オープンガーデン」に合わせて、新横浜公園のバタフライガーデン、メドウガーデン等で、地域の自然に親しみます。 	5月・1回
(1)		(4)									
(5)		(7)									
3	地域を知ろう① 小机歴史散歩 親子で歩く小机城址  <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>(1)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(5)</td><td></td><td>(7)</td><td></td></tr> </table>	(1)				(5)		(7)		ボランティアガイドに協力を仰ぎ、地域の名所でもある小机城址を、分かりやすい歴史解説を聞きながら歩いて、歴史と自然に親子で親しみ、地域への理解を深められます。 	6月・1回
(1)											
(5)		(7)									
4	地域を知ろう② 鶴見川の水系と生物 について学ぼう  <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>(1)</td><td></td><td></td><td>(4)</td></tr> <tr><td>(5)</td><td>(6)</td><td>(7)</td><td></td></tr> </table>	(1)			(4)	(5)	(6)	(7)		鶴見川流域センターに協力を仰ぎ、鶴見川水系の植物や水辺に生息する魚、甲殻類、鳥などの生態について知識を深めます。 	8月・1回
(1)			(4)								
(5)	(6)	(7)									






5	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
	地域を知ろう③ 路線バスで地域の魅力を 発見(映像ミニツアー) 	地域の足として親しまれている路線バス。地元を 運行するバス会社に協力を仰ぎ、映像等を交え ながらバスについても学び、運転手さんから見た 地域の魅力を発見します。 	11月・1回
6	親子でふれあい① たのしいお話聞かせて！ おはなしの部屋 	未就学児と保護者を対象に、絵本の読み聞かせや パネルシアターをします。親子で情緒を深め、子ども 達の感性を育みます。 【共催：おはなしキラキラぽっけ】 	4月～・12回
7	親子でふれあい② 作ってあそぼ！ ほかほかひろば 	未就学児と保護者を対象に、手遊びや簡単な工作 をして親子や友だちとふれあいます。創造力や協調 性を育みます。 【協力：おはなフループ ほかほか】 	5月、10月、3月 ・各1回
8	赤ちゃん卒業！ いっぱいあそぼう！ 大きく育つ！親子学級 	1歳～1歳半の子どもと親を対象に、手遊びや親 子で身体を使う遊び、おはなし、外遊びなど、子ども の成長にあわせて親もさまざまなことを学んでいける親 子学級を行います。 	9月～2月 ・6回
9	城郷小机・おもちゃの病院 	ボランティアのおもちゃドクターが、壊れたおもちゃを修 理します。愛着のあるおもちゃを修理して使用するこ とで、ものを大切にする心を育みます。 【共催：港北区おもちゃドクターの会】 	7、9、1、3月 ・4回


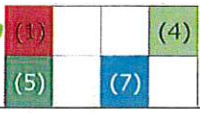


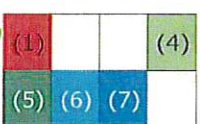








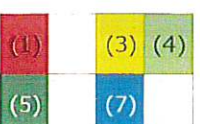

10	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
	小さなことでも話してみよう 子育てのお悩み解決 ママ、パパ交流会 	保健活動推進員やボランティアグループに協力を仰ぎ、地域で子育て中のママ、パパが交流します。子どもを連れて参加し、一緒に遊んだり話をしながら情報交換し、連携を深めます。 	6月、11月 ・各1回
11	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
	大人も子どもも歯が命 健やかに育つ 親子はみがき教室 	すごやかな成長に欠かせない歯の健康について、専門家の歯科衛生士さんから学びます。家でもできる正しい歯の磨き方も習います。 	5月・1回
12	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
	生演奏と楽しいおはなし 親子のための ぱびぷレ音楽会 	港北区のアマチュア音楽家と読み聞かせボランティアによる、未就学児と保護者を対象にした音楽会。ミニ人形劇や楽器についてのお話や、パネルシアターなども行います。 	8月・1回
13	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
	文学に親しむ 豊かなひととき 午後の朗読会 	朗読ボランティアに協力を仰ぎ、短い小説やエッセイ、詩など、幅広い作品から選び朗読します。小さな文字が読みづらくなった高齢の方にも楽しんでいただけるよう、大きな文字のテキストを用意します。 	5月、7月、10月 ・各1回
14	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
	あの頃の思い出とともに… 懐かしの名曲を歌おう 	「邦楽編」では昭和のヒット歌謡やポップスを、「洋楽編」ではビートルズやカーペンターズ、懐かしい洋楽ロックまで、青春時代の思い出の曲を、ピアノやギター等の伴奏で楽しく歌います。思い出を語り合い、声を出すことは、心と身体の健康にも良い影響を与えます。 	6月、10月 ・各1回

15	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
	いくつになっても元気！ イスに座って健康体操 	スポーツ医科学センターに協力を仰ぎ、家に閉じこもりがちな冬に、椅子に座ってストレッチや無理のない体操を行います。足に不安がある方も気軽に参加でき、家でも実践できるプログラムです。 	12月・1回
	シニアだってデジタル世代 スマホを持って散歩に出よう 	60歳以上の方を対象に、小机城址や城郷の初夏の風景や、新横浜公園の春の植物等をスマホで撮影しながら散策し、デジタルに親しみます。撮影者が選んだ自身のお気に入り画像は施設Youtubeで紹介します。 	7月、3月 各1回
	今日からあなたもマイスター 趣味のコーヒー講座 	コーヒーマイスターから、家庭でもできる美味しいコーヒーの淹れ方を学びます。コーヒー好きの仲間と豊かな時間を過ごします。 	2月・1回
	地域の健康を活性化 土曜の朝の体操講座 	軽快な音楽にあわせて身体を動かします。定期的な体操で運動不足を解消し、生活のリズムを作ります。高校生以上であれば、いつでも、どなたでも参加可能。体操を通じた仲間づくりにもぜひ。 	4月～、10月～、 1月～、の3期で 実施 各12回
	美しく健康であるための 背骨コンディショニング体操 	背骨のゆがみを整えるストレッチ体操を行います。肩こり・腰痛を防ぎ、美しい姿勢と健康な身体を保ちます。 	4月～、10月～、 1月～、の3期で 実施 各10回

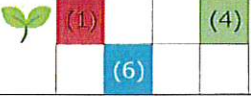
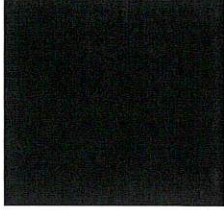


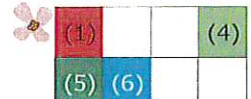

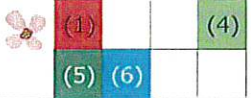
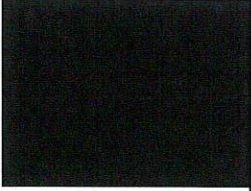
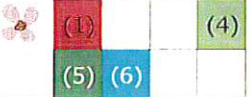
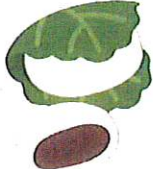
団体名：一般財団法人 こうほく区民施設協会

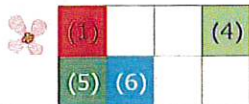

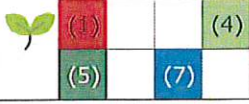

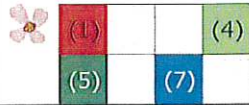

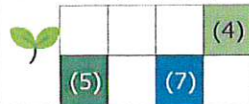



20	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
	心と身体をととのえる 木曜午後の健康ヨガ 	初心者にも続けられる、やさしいヨガで身体を健やかに保ちます。心地よい動きで気持ちも整え、心身ともに穏やかに保ちます。 	4月～、10月～、 1月～、の3期で実施 各7回
21	カラダにやさしい献立作り 健康な毎日のための 栄養講座 	スポーツ医科学センターに協力を仰ぎ、管理栄養士から、食材の栄養素やその生かし方のお話を聞きます。身体を守り、健康に暮らすための食事方法や献立が学べます。 	7月・1回
22	夏を涼しく快適に 墨彩画で夏を描く オリジナルうちわ 	小学生を対象に、オリジナルのうちわを作ります。半紙に墨と絵の具で描いた夏のモチーフのうちわに張って作ります。 環境にやさしく、日本の情緒も味わえます。 	6月・1回
23	もったいないをカタチに 素肌にやさしい 布草履づくり 	着なくなったTシャツを利用して、室内で履く布草履づくりを編みます。 足に優しく、夏の室内履きにも最適です。 	7月・1回
24	暮らしに役立つDIY① 網戸の張替え講座 	網の使用種類や使用する道具について学び、実践を交えて自分で網戸を張り替える技術を身に付けます。これで蚊や虫の侵入をシャットアウト 	6月・1回



25	事業名	目的・内容等	実施時期・回数						
	暮らしに役立つDIY② 包丁ときのコツを伝授  <table border="1" data-bbox="175 492 383 593"> <tr><td></td><td></td><td>(4)</td></tr> <tr><td>(5)</td><td></td><td></td></tr> </table>			(4)	(5)			砥石の手入れ方法や包丁の研ぎ方のコツを学び、実際に包丁を研いで、技術を身に付けます。おうちの包丁もこれでスパッと切れるように。 	12月・1回
		(4)							
(5)									
26	いざという時のために！ 今から備える防災対策  <table border="1" data-bbox="167 840 383 940"> <tr><td>(1)</td><td></td><td>(4)</td></tr> <tr><td>(5)</td><td>(7)</td><td></td></tr> </table>	(1)		(4)	(5)	(7)		地震や台風など、いつ起こるかわからない災害に備えるための講座。揃えるべき防災グッズや避難行動の知識などを学びます。 【共催：明治安田生命】 	8月・1回
(1)		(4)							
(5)	(7)								
27	薬膳の知識を学ぶ① 残暑を乗り切る 愛情たっぷりおうち料理  <table border="1" data-bbox="159 1187 383 1288"> <tr><td>(1)</td><td></td><td>(4)</td></tr> <tr><td>(5)</td><td></td><td></td></tr> </table>	(1)		(4)	(5)			身体にやさしく、免疫力アップにもつながる、なすやトマト、みょうが、カツオなど、夏～秋にかけての旬の食材を使った、愛情あふれる家庭料理を作ります。 	9月・1回
(1)		(4)							
(5)									
28	薬膳の知識を学ぶ② 春の食材で作る カラフル薬膳弁当  <table border="1" data-bbox="159 1545 383 1646"> <tr><td>(1)</td><td></td><td>(4)</td></tr> <tr><td>(5)</td><td></td><td></td></tr> </table>	(1)		(4)	(5)			身体にやさしく、免疫力アップにもつながる、たらの花、ふき、たけのこなど、冬～春にかけての旬の日本の食材を使って、見た目も味も良い行楽弁当を作ります。 	3月・1回
(1)		(4)							
(5)									
29	自然にやさしい 水やりのいらない アレンジお供え花  <table border="1" data-bbox="167 1892 383 1993"> <tr><td>(1)</td><td></td><td>(4)</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	(1)		(4)				菊やハスの実など、美しいアーティフィシャルフラワーを使用して、お手入れに水やりがいらず、いつまでも美しいアレンジ仏花を作ります。部屋の飾りとしても最適です。 	3月・1回
(1)		(4)							

30	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
	地域作業所に教わる ふわふわシフォンケーキ作り  	地域の作業所スタッフに協力を仰ぎ、おいしいお菓子作りを体験します。併せて、作業所の活動内容やボランティア活動についてお話を聞き、福祉への理解を深めます。 	7月・1回
31	多様性を理解する 親子で挑戦！ はじめてのparasports  	横浜ラポールに協力を仰ぎ、ポッチャ等のparasportsを体験します。parasportsを通じて多様性や地域共生への理解を深め、ボランティア活動や地域活動へのきっかけにもつなげます。 	10月・1回
32	地域をみまもり隊 認知症サポーター 養成講座  	誰もが安心して地域で暮らせるように、認知症への理解を深め、さまざまな場面での対応について学びます。民生委員さん、地区社協さん、ケアプラザの専門職員さんの分かりやすい説明から学びを深めます。 	11月・1回
33	より良い人生を歩むための 終活エンディングノート  	資産やデジタル、友人などの個人情報、介護、葬儀の希望などを記したエンディングノートは、後の人生をよりよく生き、終えるための大切な設計図です。ケアプラザの協力で、エンディングノートについて学び、作成します。 	2月・1回
34	正しい知識で活用しよう かんたんスマホ講座  	携帯キャリア企業に協力を仰ぎ、60歳以上を対象に、スマートフォンは持っているけれど使いこなせていない、これからスマートフォンの購入を考えている方に、基本的な使い方や簡単な活用法を分かりやすく丁寧にレクチャーします。 	3月・1回

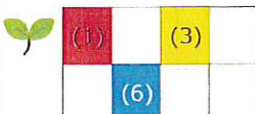

35	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
	名人をめざせ！ こども将棋教室 	小学1年～中学1年生を対象に、将棋の楽しさやルールを学びます。また、棋力のある子どもには、より強くなるための指導をします。 	5月～9月、 11月～3月 ・各全10回
36	部屋にかざろう かわいい ミニ立体こいのぼり作り 	小学生を対象に、墨と絵の具で色を付ける墨彩画の手法を使い、卓上に飾れる立体こいのぼりを作ります。 保護者も一緒に参加が可能で、親子で楽しめます。 	4月・1回
37	おいしい、かわいい いちごのショートケーキを 作る 	小学3年～6年生を対象に、生クリームの自然な甘さとみずみずしいフルーツの味わいが優しい、おしゃれなケーキを作ります。母の日のプレゼントにも最適です。 	5月・1回
38	アウトドアのコツを学ぶ！ ボーイスカウトとあそぼう 	地域で活動するボーイスカウトに協力を仰ぎ、ボーイスカウトの日ごろの野外活動をゲームを交えて楽しく体験し、異年齢集団での自発的な活動や、子ども同士の助け合いを学びます。 	7月・1回
39	ワクワクがいっぱい 夏の子ども科学教室 	小学生を対象に、楽しく科学実験を行う教室です。科学への関心や学ぶ意欲を引き出します。実験ボランティアさんとのふれあいが、とても楽しい講座です。 	8月・1回

40	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
	和のこころにふれる 夏休み 日本伝統文化教室 	小学生～中学生を対象に、茶道や華道を学び、日本の伝統文化に触れます。学んだ成果を、保護者の見学のもと、披露します。 	8月・全3回
41	ドキドキがたくさん！ 夏休み 親子 日産スタジアム探検隊 	小学生と保護者を対象に、地区センターで行う座学と、日産スタジアムの実地見学ツアーで、スタジアムの全てがわかる見どころ、魅力満点のプログラムです。 【共催：横浜市スポーツ協会】 	8月・1回
42	季節の折り紙教室① 来年の干支を折ろう！ 	季節を感じる折り紙教室の12月は、翌年の干支にちなんだ飾りを折り紙で作ります。ちょっとしたお正月飾りにもなります。 	12月・1回
43	季節の折り紙教室② かわいいお雛様 	季節を感じる折り紙教室の2月は、桃の節句に向け、お雛様を折り紙で作ります。ちょっとした壁飾りにもなる作品に仕上がります。 	2月・1回
44	地元のお店に習う① 季節の和菓子作り 	地域の店舗に協力を仰ぎ、こどもの日（端午の節句）に合わせて柏餅、夏を涼しくする水ようかんを作ります。 家庭でも作れる、香り豊かなレシピです。 	5月、8月 ・各1回

45	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
	地元のお店に習う② 季節の洋菓子作り 	地元の店舗に協力を仰ぎ、初夏のティータイムにぴったりの焼菓子や、クリスマスが待ち遠しくなるシュトレンを作ります。作った菓子は、持ち帰れます。贈り物にもぴったりです。 	6月、12月 ・各1回
	自然のチカラで健康に 地場野菜で作る ヘルシーランチ 	地元の直売所で販売している野菜を使い、身体にやさしく、適度なボリューム感のあるランチメニューを作ります。 季節の野菜についての知識も身につきます。 	8月、11月 ・各1回
	初めてのてまえ味噌 麴屋から学ぶ味噌作り 	区内の老舗麴屋さんに習って、麴味噌づくりを体験します。仕込んだ味噌は、食べられる時期になると麴屋さんからお知らせが届きます。 	9月・1回
	私の手作りプランター 花農家さんに教わる 小さな寄せ植え 	地元の花農家さんに教わって、手入れのしやすい小さな寄せ植えを作ります。扱う植物についての知識や手入れ法が学べます。 	11月・1回
	これぞ日本の味！ 季節のそば打ち教室 	初心者から経験者まで、そば打ちの基本レクチャーを受けながら、そば作りを実践します。素材から作る楽しさを味わうとともに、趣味の仲間作りにも繋がります。そばは、季節に合わせたアレンジで食します。 	9月、12月、2月 ・各1回

50	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
	モルト・ヴォーノ！！ おうちで作る 本場のイタリアン教室  	イタリア人講師と通訳兼アシスタントよるコンビから、 家庭でも作れるイタリア料理を楽しく学びます。 料理を学ぶだけでなく、イタリア語への興味がわき、 知識も深められる二重に楽しい講座です。 	7月、3月 ・各1回
	おいしいパンが食べたい！ 手作りパンを楽しむ会  	もちもちの湯種パンを手ごねで作ります。家でもパ リエーションを広げられるよう、基本の作り方とアイディア が身につきます。 	6月、12月 ・各1回
	SHIROSATO ふれあいコンサート  	地区センターとケアプラザの利用団体や、地元の学校の児童生徒が出演す るコンサートを開催します。練習の成果を発揮していただくとともに、地域の 各方面にPRして、多くの方の来場を促し、地域にある素晴らしい活動を 知っていただき、新たな参加を求め、人々の交流につなげます。	7月・1回
	サークル活動の活性化を応援 ワークショップ・ウィーク  	地区センターの利用団体で会員を募集しているサークルに呼びかけ、活動 時間内・外でワークショップ（体験会）を開催します。作品ができるサークル では、体験会での作品を文化祭での展示・発表につなげます。	9月・1回
	城郷小机合同文化祭 (ケアプラザとの合同開催)  	地区センターや地域ケアプラザの利用団体や地元のサークルや近隣の学校の 団体クラブによる展示や実技発表で、地域の交流を深めます。 また、ワークショップ（体験会）を通じてサークルへの参加を促します。 地域の各方面に、この行事をPRして、ふだんは施設に足を運ばない方の来 場を促すことで、新たな出会いを生み、地域活性化の一助とします。	10月・1回

団体名： 一般財団法人 こうほく区民施設協会

55	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
	初笑いで招福 城郷小机・新春寄席 	社会人落語家やマジシャンを招き、地域の方の明るい一年を祈念した寄席を開催します。また、地区社協やケアプラザを通してPRし、ふだん外出の機会の少ない方をお招きして笑いを提供します 	1月・1回

単独団体名・共同事業体名	一般財団法人こうほく区民施設協会
施設名	横浜市城郷小机地区センター

令和6年度収支予算書（兼指定管理料提案書）

I. 指定管理料

（単位：千円）

提案額 (a)	32,148
※区指定上限額 (b)	32,149
差引 (a) - (b)	▲ 1
提案額の区指定上限額に対する割合 (a) / (b)	100.0%

指定管理料提案額=小計【イ】を記入
※区指定上限額 (b) の範囲内で提案してください。

II. 令和6年度収支予算書（総括表）

1 収入の部

項 目	合計金額 (単位：千円)	備 考
利用料金収入 [A]	4,650	
自主事業収入 [B]	1,853	
雑入 [C]	1,158	印刷・コピー代、自販機収入他
小 計 【ア】 ([A]~[C])	7,661	施設運営収入の計
指定管理料① [D]	30,598	【ウ】 - 【ア】
指定管理料②（ニーズ対応費分） [E]	1,550	[A] × 1/3
小 計 【イ】 ([D]~[E])	32,148	指定管理料の計
収入合計 ([ア] + 【イ])	39,809	

2 支出の部

項 目	合計金額 (単位：千円)	備 考
人件費 [a]	22,090	
事務費 [b]	1,781	
自主事業費 [c]	2,253	
管理費A（光熱水費等） [d]	5,500	
管理費B（保守管理費等） [e]	3,985	
公租公課 [f]	1,950	
事務経費 [g]	700	
小 計 【ウ】 ([a] ~ [g])	38,259	施設管理運営経費の計
ニーズ対応費 [h] (= [E])	1,550	[E]と同額になります。
小 計 【エ】 ([h])	1,550	ニーズ対応費の計
支出合計 ([ウ] + 【エ])	39,809	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	一般財団法人こうほく区民施設協会
施設名	横浜市城郷小机地区センター

令和6年度収支予算書

1 収入の部内訳 (指定管理料除く)

(単位: 千円)

	項 目	内 容 等	金 額	
利用料金収入			ア	4650
			イ	
			ウ	
			エ	
			オ	
			カ	
			キ	
			ク	
			ケ	
		小 計		[A]
自主事業収入			コ	
			サ	
			シ	
			ス	
			セ	
		小 計		[B]
雑入	印刷代		ソ	208
	自動販売機手数料		タ	700
	その他	自販機電気使用料他	チ	250
			ツ	
			テ	
			ト	
		小 計		[C]

小 計 【ア】	施設運営収入計	7,661	[A]～[C]
---------	---------	-------	---------

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	一般財団法人こうほく区民施設協会
施設名	横浜市城郷小机地区センター

令和6年度収支予算書

2 支出の部内訳（ニーズ対応費除く）

（単位：千円）

	項目	内容等	金額		
人件費	正規雇用職員	館長1名、副館長2名	ア	12,205	
	臨時雇用職員	スタッフ12名	イ	8,697	
	対象外の人件費		ウ	1,188	ウ-1~ウ-4
	通勤手当		ウ-1	960	
	健康診断費		ウ-2	30	
	勤労者福祉共済掛金		ウ-3	18	
	退職給付引当金繰入額		ウ-4	180	
	小計		[a]	22,090	ア~ウ
事務費	旅費		エ	30	
	消耗品費	消耗品、会議費、図書購入、振込手数料、手数料含む	オ	600	
	会議滞在費		カ		
	印刷製本費		キ		
	通信費		ク	250	
	使用料及び賃借料		ケ		ケ-1~ケ-2
	横浜市への支払い分		ケ-1	41	
	その他		ケ-2		
	備品購入費		コ	200	
	図書購入費		サ		
	施設賠償責任保険		シ	30	
	職員等研修費		ス		
	振込手数料		セ		
	リース料		ソ	200	
	手数料		タ	400	
	地域協力費		チ	30	
	小計		[b]	1,781	エ~テ
自主事業費		[c]	2,253		
管理費A	電気料金		ト	3,400	
	ガス料金		ナ	1,600	
	上下水道料金		ニ	500	
	小計		[d]	5,500	ト~ニ
管理費B	清掃費	定期清掃、日常清掃	ヌ	2,000	
	修繕費		ネ	400	
	機械警備費		ノ	250	
	設備保全費		ハ	1,335	ハ-1~ハ-6
	空調衛生設備保守		ハ-1	240	
	消防設備保守		ハ-2	150	
	電気設備保守	エレベーター、自動ドア、自家用電気工作物保安管理	ハ-3	470	
	害虫駆除清掃保守		ハ-4	70	
	駐車場設備保全費		ハ-5	0	
	その他保全費	設備総合巡視点検、冷却水機点検、受水槽清掃、水質検査、	ハ-6	405	
	共益費		ヒ		
小計		[e]	3,985	ヌ~ハ	
公租公課	事業所税		ホ		
	消費税		マ	1,950	
	印紙税		ミ		
	その他（ ）		ム		
小計		[f]	1,950	ホ~ム	
事務経費	本部分		メ	700	
	当該施設分		モ		
	小計		[g]	700	メ~モ
小計【ウ】	施設管理運営経費計		38,259	[a]~[g]	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

※公租公課欄には、仕入税額控除後の消費税及び地方消費税見込額、その他税額を記載してください。

一般財団法人

こつほく区民施設協会



下田小学校コミュニティスクール

綱島公園こどもログハウス

綱島地区センター

新田地区センター

大綱中学校コミュニティハウス

日吉

港北

日吉地区センター

日吉台中学校
コミュニティスクール

師岡コミュニティハウス

菊名地区センター

菊名コミュニティハウス

篠原地区センター

大倉山

菊名

新横浜



併

あま

併が作り・仲間作りを応援し





お客様の笑顔は、 私たちの喜び

「こうほく区民施設協会」は、港北区内の区民利用施設を、横浜市から指定管理者の指定又は委託を受け、区民の皆様の自主的な活動の支援を通じて、活力とふれあいのある快適な地域社会の実現に寄与することを目指します。

単に場所をお貸しするというだけではなく、居心地の良い、満たされたひと時を過ごしていただきたい。人と人とのつながりが、相互交流の輪となって広がり波紋のように水面を伝わっていく。やがて、その波紋は港北区を故郷とする次の世代へと継承されていく。

地域交流の輪作りに少しでもお役に立ちたい。今日ここで出会えたことが、いい思い出になってほしい。私たちは、そのような場所を提供してまいります。

お客様の笑顔は、私たちの喜びです。お客様の感動は、私たちの感動です。今までも、そしてこれからも、「ふるさと港北」と共に歩いていくそれが私たちの願いです。



協会のあゆみ

横浜市では、日常、身近なところで多目的に利用できる地域社会の中心的な区民利用施設として地区センターを各区に数館ずつ建設し、各館の管理運営等を市で行っていましたが、これらの権限が、平成6年7月に各区長に委任されことを契機に、他の区民利用施設とあわせ、区内の施設を一元的に管理する団体として地域の各種団体の協力を得て、平成7年3月に当協会の前身である港北区区民利用施設協会が設立されました。

現協会は、平成23年7月6日に設立された一般財団法人で、旧協会は、現協会にその業務と財産を継承し、平成24年3月に解散しました。

現在は8館の指定管理施設と3館の受託施設を管理運営しています。

特色

- 1 港北区内の区民利用施設の管理運営だけを目的として設立された地域密着型の団体です。
- 2 利益追求を目的としない非営利の団体です。
- 3 施設運営のノウハウの蓄積があり対応研修・個人情報保護研修・危機管理研修・人権研修の実施等の管理体制を確立しています。
- 4 区内11施設を管理するスケールメリット、ネットワークを構築しています。
- 5 スタッフは全員、地域の実情をよく理解している施設近隣の住民のみなさんです。

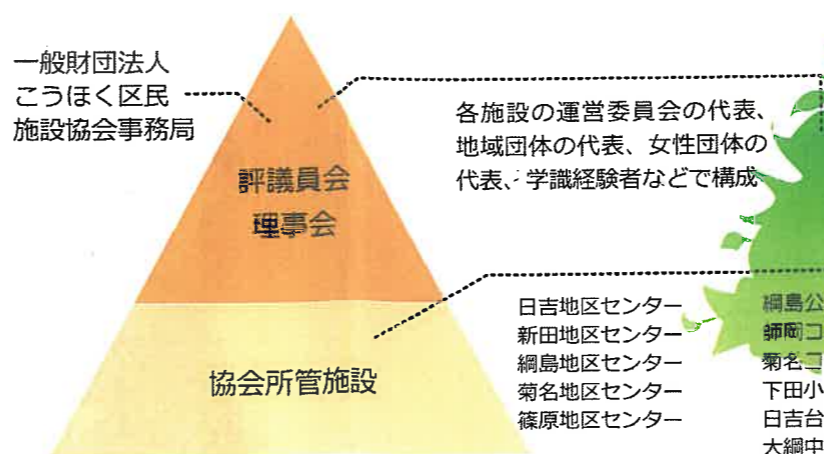
運営方針

地区センター(コミュニティハウス・コミュニティスクール)は、地域の方々の自主的な活動と相互交流の場として、誰もが気軽に利用できる地域のための施設です。

こうほく区民施設協会は、この施設の設置目的を十分認識し、次の方針の下に管理運営に努めます。

- 1 私たちは、地域のニーズと課題を的確に把握し、それに応える夢のある事業や、わくわくするような事業を通じて、満足感と親しみを感じていただける施設運営を目指します。
- 2 私たちは、サービスの質とその向上を追求するとともに、その成果を確実にお客様にお届けするための研鑽に努めます。
- 3 私たちは、「最少の経費で最良のサービス」をお客様に提供するために、コスト意識をもって施設運営にあたります。

組織



人員体制

協会には、各施設の館長・副館長などのほかコミュニティスタッフなど、合わせて約125人が勤務しています。

将来像

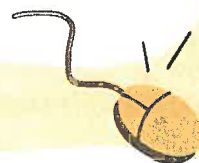
私たちは、魅力的な事業の提案・提供と安全で安心して過ごせる快適な空間の創造を通じて、なお一層の地域貢献の役割を果たしてまいります。

現在管理運営している施設

施設名	業務区分
日吉地区センター 〒223-0062 横浜市港北区日吉本町 1-11-13 ☎561-6767	指定管理
新田地区センター 〒223-0056 横浜市港北区新吉田町 3236 ☎591-0777	同 上
綱島地区センター 〒223-0053 横浜市港北区綱島西 1-14-26 ☎545-4578	同 上
菊名地区センター 〒222-0011 横浜市港北区菊名 6-18-10 ☎421-1214	同 上
篠原地区センター 〒222-0022 横浜市港北区篠原東 2-15-27 ☎423-9030	同 上
綱島公園こどもログハウス 〒223-0054 横浜市港北区綱島台 1 ☎547-4556	同 上
師岡コミュニティハウス 〒222-0002 横浜市港北区師岡町 700 (トレッサ横浜 南棟 3F) ☎534-2439	同 上
菊名コミュニティハウス 〒222-0011 横浜市港北区菊名 4-4-1 ☎401-4964	同 上
下田小学校コミュニティスクール 〒223-0064 横浜市港北区下田町 4-10-1 ☎565-2850	受託管理
日吉台中学校コミュニティスクール 〒223-0062 横浜市港北区日吉本町 4-9-1 ☎565-2840	同 上
大綱中学校コミュニティハウス 〒222-0037 横浜市港北区大倉山 3-40-2 ☎547-2761	同 上

※利用方法や施設案内・趣味のサークルを探している・・・など詳しいことは各施設にお気軽にお問い合わせください。

下記協会ホームページから各施設のホームページにアクセスできます。



一般財団法人 こうほく区民施設協会事務局

〒222-0011 横浜市港北区菊名 6-18-10 菊名地区センター内

☎ 045-435-2651 fax 045-434-6402

<http://www.kouhoku-ksk.or.jp/>

